

CASBEE®横浜[戸建]

CASBEE横浜[戸建]作成マニュアル



2022年版



CASBEE横浜
イメージキャラクター「きゃすびっぴ」

令和6年6月
横浜市 建築局

はじめに

横浜市は、「2050年までの温室効果ガス実質排出ゼロ(脱炭素化)」「(Zero Carbon Yokohama)」を本市の温暖化対策の目指す姿(ゴール)とし、温暖化対策に取り組んでいます。また、部門別の二酸化炭素排出割合では、家庭部門が最も高く、削減が思うように進んでいない状況にあります。

こうした中、令和3年には「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律(建築物省エネ法)」が改正され、住宅等の設計に際し設計者から建て主に対して省エネ性能の説明を行うことが義務付けられました。太陽光や風力等の再生可能エネルギーを活用した省エネルギー型住宅の普及も含め、住宅での環境配慮がより一層求められています。

建築物環境配慮制度(CASBEE横浜)は、建築主・設計者に環境配慮を促すとともに、設定した評価ツールによる環境配慮の取組内容の自己評価・届出を求め、評価結果を公表することにより、優れた環境配慮がなされた建築物の普及をねらいとしています。

本制度は平成17年度から開始していますが、建築物の地球温暖化対策を推進するため、平成22年度から届出の対象を拡大するとともに、不動産広告等に評価結果の表示をしていただく「建築物環境性能表示」を開始しました。平成24年度から、戸建住宅を含む床面積の合計が2,000㎡未満の建築物についても、希望者が届出できるよう(任意の届出)、制度を拡充しました。

平成28年度からは、東日本大震災などによる災害への備え、省エネルギーの重要性の高まりや超高齢社会への対応など、本市を取り巻く状況は大きく変化しており、横浜の未来を見据えた環境・温暖化対策を推進するため、新たな重点項目としました。あわせて、建築物環境性能表示について、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律(以下「建築物省エネ法」という。)第7条に基づく「建築物のエネルギー消費性能の表示」の動向等も踏まえ、「横浜市建築物環境性能表示基準」の一部改正を実施しました。

本マニュアルは、戸建住宅のための評価システム「CASBEE横浜 [戸建]」について、建築主や設計者の方々に制度の趣旨やしくみの理解を深めていただくためのものであり、制度の内容と届出に際しての建築物環境配慮計画の作成方法について解説しています。

建築物の環境配慮を進めるためには、計画の早い段階から幅広く検討することが効果的です。本図書を活用し、建築主、設計者の方々の取組を進めていただくと共に、環境配慮に積極的に取り組んだ建築物の評価が高まり、環境配慮の取組が普及するよう、建築物を使用する多くの方々の理解と協力をお願いするものです。

令和6(2024)年6月

横浜市

目 次

第 I 章	横浜市建築物環境配慮制度について	1
1	制度の目的.....	1
2	根拠法令等.....	1
3	環境配慮の範囲.....	1
4	届出対象建築物(特定外建築物).....	2
5	環境配慮の取組の評価基準.....	2
6	横浜市における戸建住宅の建築物環境配慮の重点項目.....	5
7	届出の手続き.....	6
8	届出内容の公表.....	9
9	指導・助言.....	9
10	建築物環境配慮計画の届出手続きの流れ(フロー図).....	10
11	各種届出様式及び注意事項.....	11
第 II 章	横浜市建築物環境性能表示について	19
1	建築物環境性能表示の概要.....	19
2	標章(ラベル)の表示内容.....	20
3	標章(ラベル)の作成方法.....	23
4	販売等受託者の役割.....	30
5	建築物環境性能表示の表示の届出.....	30
6	変更後の表示の取扱い.....	31
7	購入者等への説明.....	31
8	指導・助言.....	32
9	その他の注意事項.....	32
10	建築物環境性能表示の手続きの流れ.....	33
11	届出様式及び注意事項.....	34
第 III 章	建築物環境配慮計画の作成方法等について	35
1	「CASBEE横浜[戸建]」の作成方法.....	35
2	CASBEE横浜[戸建]の重点項目の評価方法.....	47



第1章 横浜市建築物環境配慮制度について

建築物は、建設から供用、廃棄を通じて環境へ様々な負荷を与えます。横浜市では、平成16年10月21日に横浜市環境審議会から「横浜市における建築物環境配慮促進のあり方について」答申を受け、横浜市建築物環境配慮制度を創設しました。この制度は、建築物の建築に際して、総合的な環境配慮の取組を促す制度です。

横浜市建築物環境配慮制度は、建築主がその建物の「建築物環境配慮計画」を作成することによって、建物の省エネルギー対策や長寿命化、周辺のまちなみとの調和、緑化対策など、総合的な環境配慮の取組を進めるものです。建築主は、建物を計画する際に、「CASBEE横浜」により自己評価し、横浜市に届出を行います。横浜市は、評価結果及び建築計画の概要をホームページ等で公表します。



図1-1 CASBEE横浜による環境配慮の取組の推進

この制度は平成17年7月1日から実施しており、平成22年度には、届出対象を床面積の合計が2,000㎡以上に拡大(当初は5,000㎡超)するとともに、評価結果を不動産広告に表示する建築物環境性能表示制度を開始しました。

平成24年4月より、戸建住宅を含む2,000㎡未満の建築物についても、希望する建築主の方が届け出ることができる任意の届出制度が始まりました。

本マニュアルは、戸建住宅の届出用に作成したものです。

1 制度の目的

- 建築物によるエネルギー使用、環境負荷の低減
- 環境負荷が低く、環境品質が高い、長寿命な建築物の普及促進
- 緑豊かなまちづくり、まちなみ、景観への取組の促進
- 建築物の環境配慮技術の開発及び普及の促進
- 建築物の環境配慮に対する理解の浸透

2 根拠法令等

- 横浜市生活環境の保全等に関する条例
- 横浜市生活環境の保全等に関する条例施行規則
- 横浜市生活環境の保全等に関する条例施行細則
- 建築物環境配慮指針
- 横浜市特定外建築物環境配慮計画の届出に関する要綱
- 横浜市建築物環境性能表示基準
- ※建築基準法に基づく確認申請の建築基準関係規定ではありません。

3 環境配慮の範囲

建築物による環境負荷の低減をめざすという目的から、戸建住宅が、敷地外に対して及



ばす大気汚染や騒音発生、エネルギー・資源消費、廃棄物発生などの環境影響を低減(環境負荷低減)する取組を進めます。

また、戸建住宅の居住者にとって重要な室内環境、戸建住宅の長寿命化のために必要な維持管理のしやすさや耐久性、地域環境にも影響するまちなみ・景観への配慮など、戸建住宅の品質(環境品質)についての取組もあわせて進めていきます。

4 届出対象建築物(特定外建築物)

床面積(増築又は改築の場合にあつては、当該増築又は改築に係る部分の床面積)の合計が2,000㎡未満の建築物及び戸建住宅(「特定外建築物」と呼びます)を対象とします。(なお、延床面積2,000㎡以上の建築物は「特定建築物」として、CASBEE横浜による届出を行います。)



図 I-2 CASBEE横浜[戸建]の届出対象

5 環境配慮の取組の評価基準

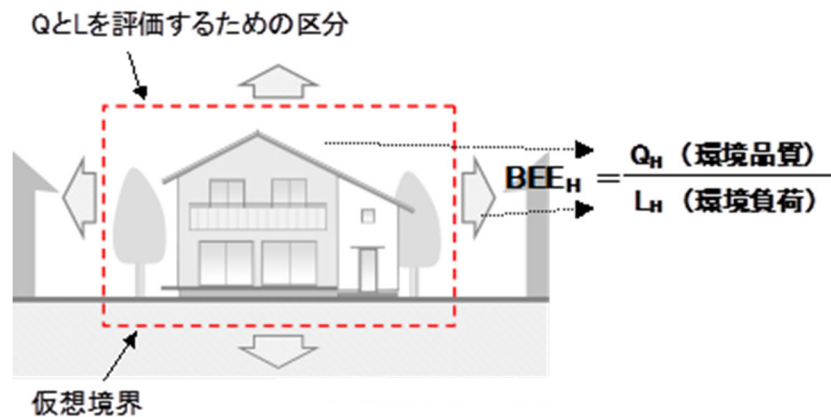
建築物の環境配慮の評価については、多岐にわたる配慮項目について総合的に評価する必要があり、市民にわかりやすく提供することも考慮して、次に述べる「建築環境総合性能評価システム(CASBEE)」の評価手法を基本とします。

建築環境総合性能評価システム(CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency、キャスビー)は、諸外国での建築物環境性能総合評価の普及を背景に、平成15年に国土交通省、学識経験者など産官学の共同により開発されたシステムです。

CASBEEでは、建築物敷地境界等による仮想境界で区分された内外二つの空間を想定し、境界内部の建築物の環境品質に係る要素(Q:Quality)、境界を越えて外部に与える環境負荷に係る要素(L>Loading)のそれぞれの環境配慮項目について取組を評価します。これらを統合し、次式で示される建築物の環境効率(BEE: Built Environment Efficiency)という数値を用いて、建築物の環境性能を総合的に評価するシステムとなっています。

$$BEE=Q/L$$

建築物の環境効率BEEは、建物の環境品質(Q)を向上した場合、また外部への環境負荷(L)を低減した場合ほど高くなります。CASBEEによる評価ではBEE値に応じて「Sランク(素晴らしい)」から、「Aランク(大変良い)」「B+ランク(良い)」「B-ランク(やや劣る)」「Cランク(劣る)」という5段階の格付けが与えられます。なお、戸建住宅の評価においては、これらを「すまいの環境効率BEE_H」「すまいの環境品質Q_H」「すまいの環境負荷L_H」と区別して呼んでいます。



より良い環境品質 (Q_H) の戸建住宅を、より少ない環境負荷 (L_H) で実現するための評価システム
 ↓
 すまいの環境効率 BEE_H

図 1-3 すまいの環境効率 BEE_H値

表 1-1 BEE値によるランクと評価の対応

ランク	評価		BEE 値ほか	ランク表示
S	Excellent	素晴らしい	BEE=3.0 以上、Q=50 以上	★★★★★
A	Very Good	大変良い	BEE=1.5 以上 3.0 未満	★★★★
B ⁺	Good	良い	BEE=1.0 以上 1.5 未満	★★★
B ⁻	Fairly Poor	やや劣る	BEE=0.5 以上 1.0 未満	★★
C	Poor	劣る	BEE=0.5 未満	★

CASBEEはいくつかのツール群で構成されますが、このうち、「CASBEE-戸建(新築)」を基本として、建築物環境配慮指針に基づいて横浜市の制度用に編集したシステムが「CASBEE横浜[戸建]」です。この枠組みで環境配慮の取組を自己評価していただくとともに、特定建築物については建築物環境配慮計画を作成し、届け出ていただきます。

「CASBEE横浜[戸建]」による環境配慮計画の作成は、「CASBEE-戸建(新築)」を一部アレンジした「評価用ソフト」と、横浜市の重点項目(次節参照)への取組状況を市民にわかりやすく表示するための「公表用ソフト」を使用します。また、環境性能表示が必要となる広告を行う場合は「表示作成ソフト」を使用します。「CASBEE横浜[戸建]」による建築物環境配慮計画の作成方法等の解説は第三章を参照してください。

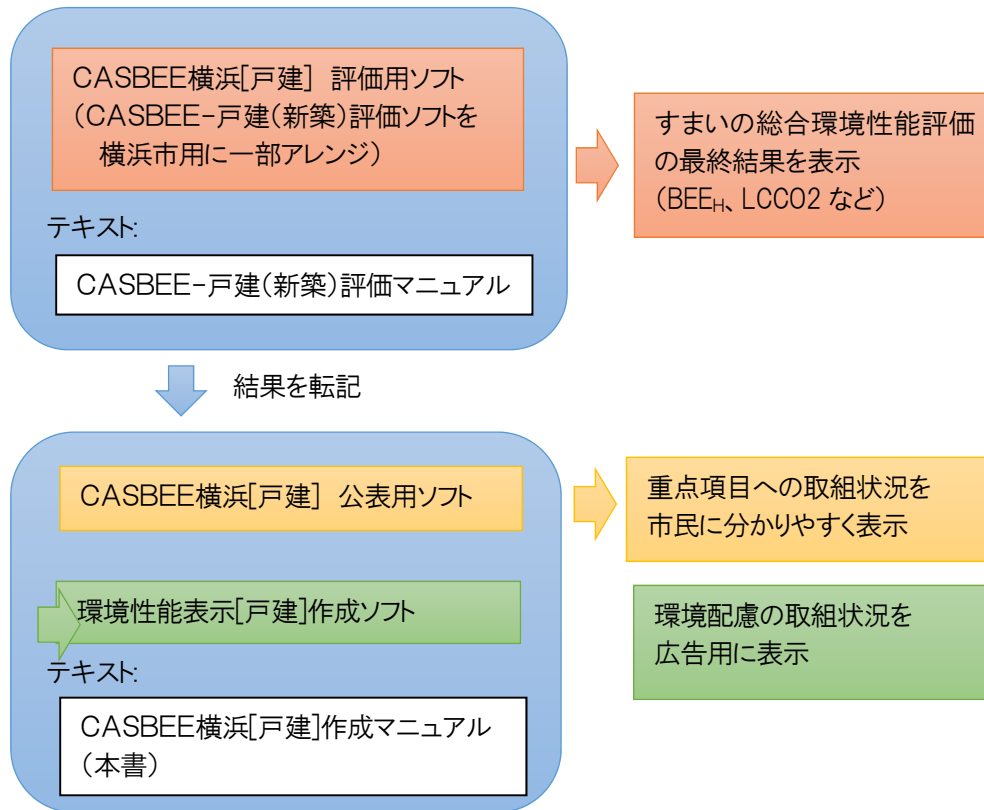


図 1-4 CASBEE横浜[戸建]の全体像



6 横浜市における戸建住宅の建築物環境配慮の重点項目

CASBEE横浜[戸建]には、建築物の環境性能を総合的に評価するため、多数の環境配慮項目がありますが、横浜市の地域性等を踏まえ、建築主に建築に際して特に取組を推進していただきたい4つの重点項目を設け、公表に際してわかりやすく表示する工夫をしています。

(1)「建築物の省エネルギー性能」に関する項目 **E**:(Energy Saving)

住宅の高断熱化やLED照明、太陽光発電システム・太陽熱給湯システム等の自然エネルギーの導入など、省エネ対策を通じて地球温暖化防止を推進します。

(2)「健康・快適な職住環境」に関する項目 **W**:(Smart Wellness Community)

国が推進するスマート・ウェルネス・コミュニティ(健康長寿社会)を実現に向け、健康に暮らすための配慮や防犯対策、地域への防災性・防犯性等、住む人の健康や安全への対策を推進します。

(3)「防災への配慮」に関する項目 **R**:(Resilience)

耐震性などに加え避難生活にも配慮した取組など、震災時等への備えを促します。

(4)「地域・まちづくりへの貢献」に関する項目 **T**:(Township and Townscape)

周辺のまちなみとの調和、緑豊かなまちづくりを実現する緑化や生物の生息環境に配慮した計画を進めます。

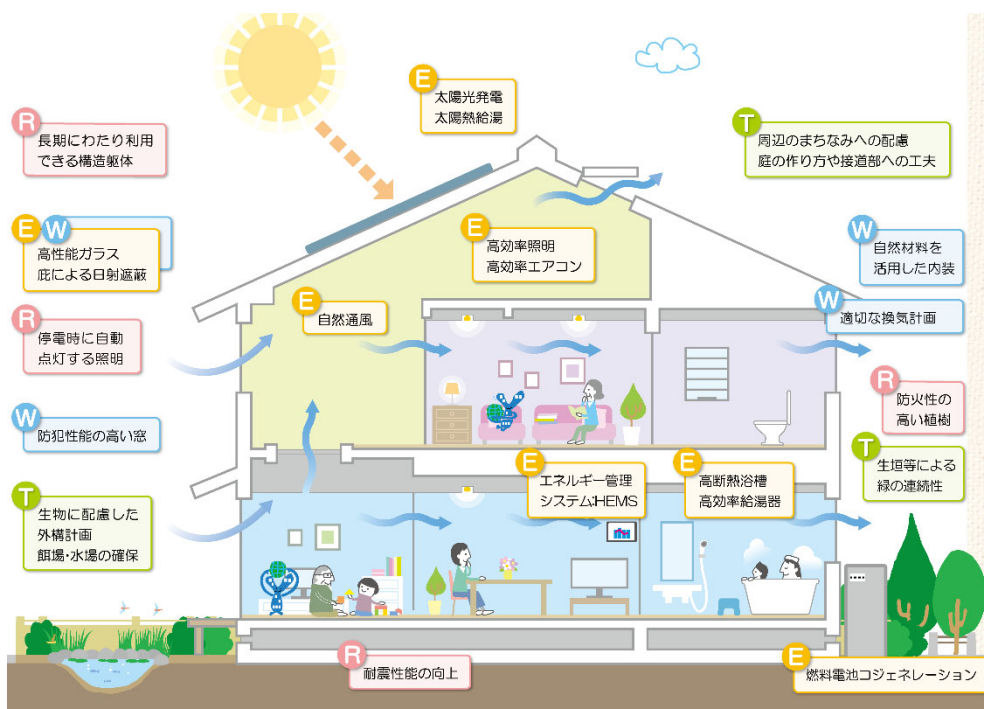


図 1-5 CASBEE横浜[戸建]の重点項目(イメージ)



7 届出の手続き

戸建住宅の建築(新築、増築、改築)をしようとする方(以下「特定外建築主」といいます。)で、希望する場合は、「建築物環境配慮計画」を作成し、
工事着手予定日の前まで に市長に届け出ることができます。

(1)建築物環境配慮計画の届出

建築物環境配慮計画は、「特定外建築物環境配慮計画届出書」(P11)に表 1-2 に掲げる図書を添えて、正本・副本(計2部)をA4ファイルに綴じて提出してください。

表 1-2 特定外建築物環境配慮計画届出書及び添付図書(正・副 2 部)

	届出書及び添付図書等	備 考
1	特定外建築物環境配慮計画届出書	要綱第1号様式
2	委任状	
3	CASBEE横浜[戸建] 評価結果 ① メインシート ② スコアシート ③ 結果シート ④ CASBEE横浜[戸建]評価ソフト ⑤ 貼り付け画像 (外観パース JPEG 形式等)	CASBEE横浜[戸建] 評価用ソフトにより、建築物環境配慮計画を作成してください。 作成方法の解説は、第三章を参照してください。 ①～③:ソフトの中のシートを印刷したものを添付してください。 ④・⑤:CD-R 等の電子データにより提出してください。(正本用1部のみ)
4	CASBEE横浜[戸建] 公表用ソフト ① 重点項目シート(公表用) ② 公表用スコアシート ③ CASBEE横浜[戸建] 公表用ソフト	CASBEE横浜[戸建]公表用ソフトにより、ホームページ用公表シートを作成してください。 作成方法の解説は、第三章を参照してください。 ①・②:ソフトの中のシートを印刷したものを添付してください。 ③:CD-R等の電子データにより提出してください。
5	案内図	
6	配置図	緑化計画が分かるもの(外構計画図など)
7	平面図	
8	立面図	
9	断面図	
10	住宅性能評価書(設計段階)等の写し	計画内容がわかる資料 <例> ・住宅性能表示:住宅性能評価書、住宅型式性能認定書 ・長期優良住宅:長期使用構造等である旨の確認書 ・フラット 35:適合証明書(融資を実施するための確認書) ・住宅省エネラベル:住宅事業建築主基準に係る適合証
11	その他※	横浜市重点項目又はレベル3を上回る採点をした項目の資料を求める場合があります。



※11. その他に該当する資料

例(重点項目又はレベル3を超える場合)

【Q1 室内環境を快適・健康・安心にする】

- | | |
|-------------------------|--------|
| 1. 暑さ・寒さ 1.1.2 日射の調整機能 | …日射侵入率 |
| 2. 健康と安全・安心 2.2 適切な換気計画 | …換気量 |
| 3. 明るさ 3.1 昼光の利用 | …単純開口率 |

【Q3 まちなみ・生態系を豊にする】

- | | |
|----------------------|---------|
| 2.生物環境の創出 2.1 敷地内の緑化 | …緑化面積比率 |
|----------------------|---------|

【LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する】

- | | |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 3. 周辺環境への配慮 3.2 周辺温熱環境の改善 | …壁面後退距離率、中・高木やヒロティ等の水平投影面積率、緑被率、
舗装面積率、保水性・透水性舗装等面積率、屋根緑化等面積率、
外壁面緑化等面積率 |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|

【環境配慮技術の導入】(重点項目シート)

太陽光発電や太陽熱利用、エネルギーマネジメントシステム他、環境配慮技術を導入する場合は、導入状況が確認できる資料を提出してください。

【SDGs 利用】(建築環境 SDGs チェックリスト)

任意で SDGs 評価を行った場合で、建築環境 SDGs 独自の採点項目のうち2以上の採点をした項目がある場合、加点対象へチェックを入れて加点した場合は、内容が確認できる資料を提出してください。

(2)建築物環境配慮計画の変更の届出

建築物環境配慮計画に記載されている事項を変更する場合は、「特定外建築物環境配慮計画 変更 届出書」(P13 参照)により正本・副本(計2部)を提出してください。

添付図書は、(1)表 1-2 のうち変更にかかわる図書及び電子データのみとします。

届出が必要な変更は次のとおりとし、いずれの場合も変更後速やかに届け出てください。

- ① 建築確認申請(計画通知)の変更を伴う場合
- ② 特定外建築物の概要又は、特定外建築物の建築に係る環境への負荷の低減に関する事項を変更する場合
- ③ 特定外建築主の氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名、特定外建築物の名称及び所在地の事項を変更する場合

(3)工事完了の届出

特定外建築物の建築に係わる工事が完了した日から15日以内に、「特定外建築物工事完了届出書」(P16 参照)を届け出てください。(正副2部)

(4)建築中止の届出

特定外建築物の建築を中止する(又は届出を取り下げる)ときには、建築を中止した日以後、速やかに、「特定外建築物中止(取下)届」(P15 参照)を届け出てください。(正副2部)

(5)建築物環境性能表示の届出

建築物環境性能表示を表示した日から、15日以内に、「建築環境性能表示(変更)届出書」(第II章参照)に、表示した広告物の写し等を添付して届け出てください。(正副2部)

詳細については、「第II章 建築物環境性能表示制度について」を確認してください。

(6)届出方法

直接届出窓口までお持ちください。



届出窓口:横浜市建築局 建築指導部 建築企画課
横浜市中区本町6丁目50番地の10 25階
電話:045-671-4526



図 I-6 届出窓口MAP



8 届出内容の公表

届け出ていただいた建築物環境配慮計画の概要は、担当窓口(建築局 建築企画課)及び横浜市のホームページで公表します。

公表する内容は次のとおりです。

- (1) 特定外建築物の名称及び所在地
- (2) 特定外建築主の氏名(法人にあつては名称)※
- (3) 設計者の氏名(法人にあつては名称)※
- (4) 特定外建築物の概要
- (5) 特定外建築物の環境への負荷の低減等に関する事項

CASBEE横浜[戸建]の

- ① 結果シート
- ② 公表用スコアシート
- ③ 重点項目シート

公表期間は、おおむね 5 年間とします。

※(2)及び(3)について、公表を控えたい場合は、ご相談ください。

9 指導・助言

届出の内容について確認させていただく為にヒアリング等を行い、根拠となる図書等を求める場合があります。

また、届出内容等について虚偽があつたときや、必要な各届出をしていない場合には、内容を是正すべきこと及び改善を求める指導を行う場合があります。



10 建築物環境配慮計画の届出手続きの流れ(フロー図)

建築物環境配慮計画の届出手続きの流れ(フロー図)を以下に示します。

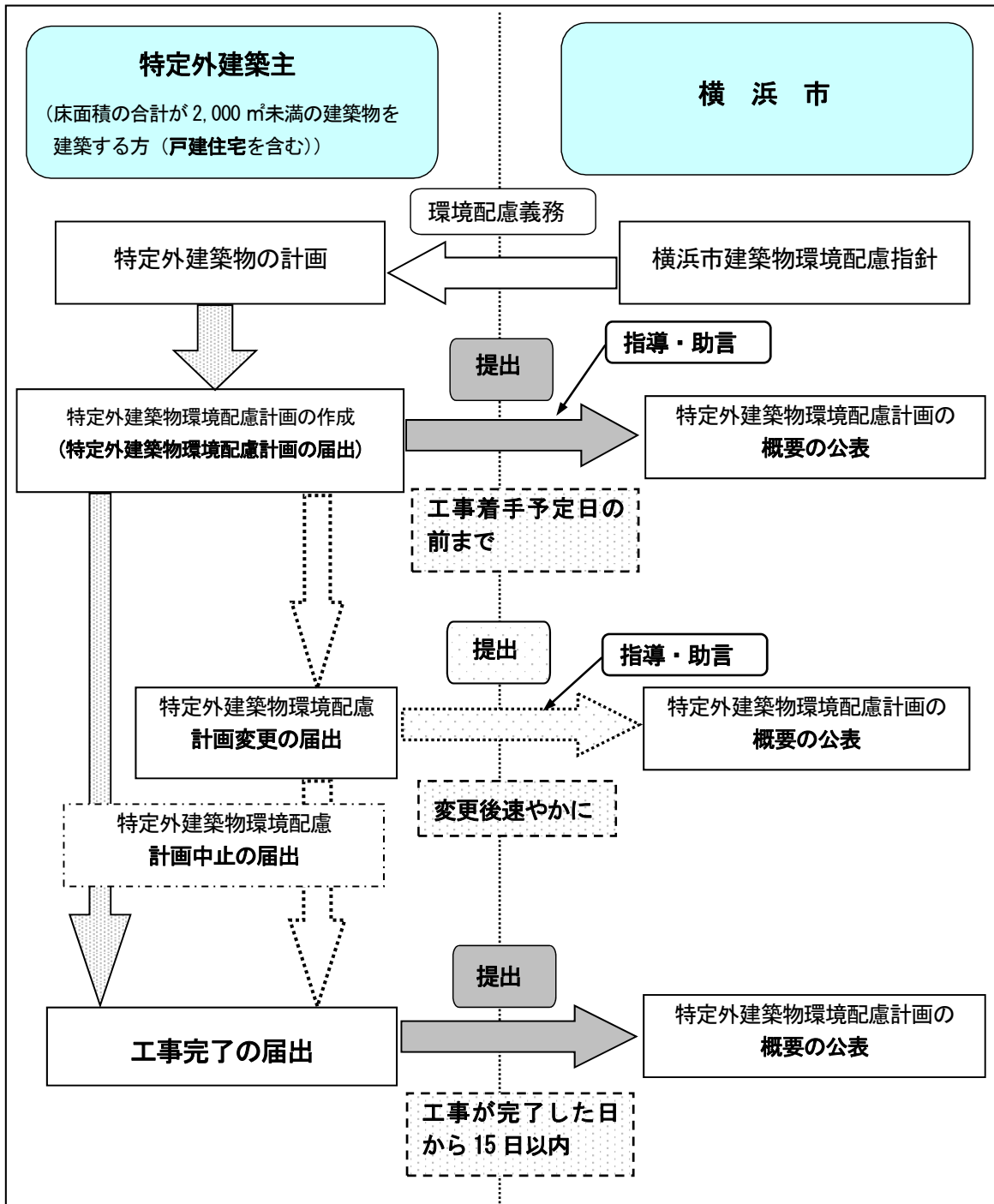


図 1-7 届出手続きの流れ(フロー図)



11 各種届出様式及び注意事項

特定外建築物環境配慮計画届出書の記入上の注意事項

第1号様式

(表)

特定外建築物環境配慮計画届出書

年 月 日

(届出先)
横浜市 長

届出者(特定外建築主)氏名
(法人にあつては名称及びその代表者の氏名)

横浜市特定外建築物環境配慮計画の届出に関する要綱第3条の規定により、次のとおり届け出ます。

<p>【1. 特定外建築主】 【氏名のフリガナ】 【氏名】 【郵便番号】 【住所】 【電話番号】</p>	
<p>【2. 設計者】 【資格】 () 建築士 () 登録第 号 【氏名】 【建築士事務所名】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号 【郵便番号】 【事務所の所在地】 【電話番号】</p>	<p>CASBEE 評価員制度における評価員登録番号をお持ちの方は、その登録番号を記入してください</p>
<p>【3. 建築物環境配慮計画作成者】 【氏名】 (CASBEE 建築(戸建)評価員登録番号:)</p>	
<p>【4. 連絡者】 【氏名】 【郵便番号】 【住所】 【電話番号】</p>	<p>本届出に対する連絡の窓口となつていただける方を記入してください。</p>

※ 受付欄	※ 特記欄
<p>※欄は記入しないでください。</p>	



(裏)

特定外建築物等に関する事項

<p>【1. 特定外建築物の名称及び所在地】</p> <p>【名称のフリガナ】</p> <p>【名称】</p> <p>【所在地】</p>
<p>【2. 特定外建築物の概要】</p> <p>【2-1. 工事種別】</p> <p><input type="checkbox"/>新築 <input type="checkbox"/>増築 <input type="checkbox"/>改築 <input type="checkbox"/>修繕</p> <p>【2-2. 床面積の合計及び用途】</p> <p>(届出部分) (届出以外の部分) (合計)</p> <p>【床面積の合計】 () () () m²</p> <p>【用途区分】</p> <p><input type="checkbox"/>事務所 <input type="checkbox"/>学校 <input type="checkbox"/>物販店 <input type="checkbox"/>飲食店 <input type="checkbox"/>集会所 <input type="checkbox"/>病院 <input type="checkbox"/>ホテル <input type="checkbox"/>集合住宅 <input type="checkbox"/>工場</p> <p><input type="checkbox"/>戸建住宅</p> <p>【2-3. 構造】</p> <p>【2-4. 高さ及び階数】 () m (地上 階、地下 階)</p> <p>【2-5. 確認申請予定年月日又は確認申請年月日】 年 月 日</p> <p>【2-6. 工事着手予定年月日】 年 月 日</p> <p>【2-7. 工事完了予定年月日】 年 月 日</p>
<p>【3. 特定外建築物の建築に係る環境の負荷の低減に関する事項】</p>
<p>【4. 備考】</p>

戸建住宅に「レ」マークを入れてください。

別添と記入

(注意)

- 各面共通関係
 - 届出は特定外建築物ごとに行ってください。
 - 数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。
- 表面関係

※印のある欄は記入しないでください。
- 裏面関係
 - 2-1欄は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
 - 2-2欄は、増築又は改築の場合にあつては、当該増築又は改築に係る部分の床面積の合計及び用途を記入してください。
 - 2-2欄の「用途区分」は、該当する全てのチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- 次の事項を市庁舎内及びインターネット等で公表します。
 - 表面1欄の特定外建築主の氏名(法人にあつては名称)、表面2欄の設計者の建築士事務所名又は氏名ただし、協議により公表しないことができます。
 - 裏面の1欄、2欄、3欄に係る事項



特定外建築物環境配慮計画 変更 届出書の記入上の注意事項

第2号様式

(表)

特定外建築物環境配慮計画 変更 届出書

年 月 日

(届出先)
横 浜 市 長

届出者 (特定外建築主) 氏 名
(法人にあつては名称及びその代表者の氏名)

横浜市特定外建築物環境配慮計画の届出に関する要綱第4条の規定により、次のとおり届け出ます。

<p>【1. 特定外建築主】 【氏名のフリガナ】 【氏名】 【郵便番号】 【住所】 【電話番号】</p>
<p>【2. 設計者】 【資格】 () 建築士 () 登録第 号 【氏名】 【建築士事務所名】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号 【郵便番号】 【事務所の所在地】 【電話番号】</p>
<p>【3. 建築物環境配慮計画作成者】 【氏名】 (CASBEE 建築(戸建)評価員登録番号:)</p>
<p>【4. 連絡者】 【氏名】 【郵便番号】 【住所】 【電話番号】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> <p>本届出に対する連絡の窓口となつていただける方を記入してください。</p> </div>

※ 受付欄	※ 特記欄
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> <p>※欄は記入しないでください。</p> </div>	



(裏)

特定外建築物等に関する事項

<p>【1. 特定外建築物の名称及び所在地】</p> <p>【名称のフリガナ】</p> <p>【名称】</p> <p>【所在地】</p>
<p>【2. 特定外建築物の概要】</p> <p>【2-1. 工事種別】</p> <p><input type="checkbox"/>新築 <input type="checkbox"/>増築 <input type="checkbox"/>改築 <input type="checkbox"/>移転</p> <p>【2-2. 床面積の合計及び用途】</p> <p>(届出部分) (届出以外の部分) (合計)</p> <p>【床面積の合計】 () () () m²</p> <p>【用途区分】</p> <p><input type="checkbox"/>事務所 <input type="checkbox"/>学校 <input type="checkbox"/>物販店 <input type="checkbox"/>飲食店 <input type="checkbox"/>集会所 <input type="checkbox"/>病院 <input type="checkbox"/>ホテル <input type="checkbox"/>集合住宅 <input type="checkbox"/>工場</p> <p><input type="checkbox"/>戸建住宅</p> <p>【2-3. 構造】</p> <p>【2-4. 高さ及び階数】 () m (地上 階、地下 階)</p> <p>【2-5. 確認申請予定年月日又は確認申請年月日】 年 月 日</p> <p>【2-6. 工事着手予定年月日】 年 月 日</p> <p>【2-7. 工事完了予定年月日】 年 月 日</p>
<p>【3. 特定外建築物環境配慮計画届出書受付番号】 第 号</p> <p>【4. 特定外建築物環境配慮計画変更届出書受付番号】 第 号</p>
<p>【5. 特定外建築物の建築に係る環境の負荷の低減に関する事項】</p>
<p>【6. 変更内容の概要】</p>
<p>【7. 備考】</p>

(注意)

1. 各面共通関係
 - ① 届出は特定外建築物ごとに行ってください。
 - ② 数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。
2. 表面関係

※印のある欄は記入しないでください。
3. 裏面関係
 - ① 2-1欄は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
 - ② 2-2欄は、増築又は改築の場合にあっては、当該増築又は改築に係る部分の床面積の合計及び用途を記入してください。
 - ③ 2-2欄の「用途区分」は、該当する全てのチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
 - ④ 6欄には変更の概要について記入してください。
4. 次の事項を市庁舎内及びインターネット等で公表します。
 - ① 表面1欄の特定外建築主の氏名（法人にあっては名称）、表面2欄の設計者の建築士事務所名又は氏名ただし、協議により公表しないことができます。
 - ② 裏面の1欄、2欄、5欄に係る事項



特定外建築物中止(取下)届の記入上の注意事項

第3号様式

特定外建築物中止(取下)届

年 月 日

(届出先)
横浜市長

届出者(特定外建築主) 氏名
(法人にあつては、名称及びその代表者の氏名)

横浜市特定外建築物環境配慮計画の届出に関する要綱第5条の規定により、次のとおり届け出ます。

1 特定外建築主	フリガナ 氏名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 郵便番号 住所 電話番号
2 特定外建築物 の名称及び所在地	フリガナ 名称 所在地
3 特定外建築物環境配 慮計画届出書等の受 付番号	特定外建築物環境配慮計画届出書 第 号 特定外建築物環境配慮計画変更届出書 第 号
4 建築を中止した日	年 月 日
5 備考	
※ 受付 処理 欄	※ 特 ※欄は記入しないでください。

備考 1 ※印のある欄は、記載しないでください。
2 2通作成してください。



特定外建築物工事完了届出書の記入上の注意事項

第4号様式

(表)

特定外建築物工事完了届出書

年 月 日

(届出先)
横浜市 長

届出者 (特定外建築主) 氏 名
(法人にあつては名称及びその代表者の氏名)

横浜市特定外建築物環境配慮計画の届出に関する要綱第6条の規定により、次のとおり届け出ます。

<p>【1. 特定外建築主】 【氏名のフリガナ】 【氏名】 【郵便番号】 【住所】 【電話番号】</p>	
<p>【2. 設計者】 【資格】 () 建築士 () 登録第 号 【氏名】 【建築士事務所名】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号 【郵便番号】 【事務所の所在地】 【電話番号】</p>	
<p>【3. 連絡者】 【氏名】 【郵便番号】 【住所】 【電話番号】</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 本届出に対する連絡の窓口となつていただける方を記入してください。 </div>

※ 受付欄	※ 特記欄
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin: 0 auto;"> ※欄は記入しないでください。 </div>	

(A4)



(裏)

特定外建築物等に関する事項

<p>【1. 特定外建築物の名称及び所在地】 【名称のフリガナ】 【名称】 【所在地】</p>		
<p>【2. 特定外建築物環境配慮計画届出書受付番号】</p>	第	号
<p>【3. 特定外建築物環境配慮計画変更届出書受付番号】</p>	第	号
<p>【4. 工事完了年月日】</p>	年	月 日
<p>【5. 建築物環境配慮計画に係る事項の変更】</p> <p><input type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</p>		
<p>【6. 備考】</p>		

完了届の提出に際し、前回の手続き(建築物環境配慮計画届出書 または 建築物環境配慮計画変更届出書)から変更が無いことを確認し、チェックを入れてください。
※変更がある場合は、特定建築物環境配慮計画変更届出書を提出してください。

(注意)

1. 各面共通関係

- ① 届出は特定外建築物ごとに行ってください。
- ② 数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。

2. 表面関係

※印のある欄は記入しないでください。

3. 裏面関係

5欄には、特定外建築物環境配慮計画届出書又は変更届出書の提出後における変更事項について、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、6欄に変更の概要について記入してください。変更がある場合は、特定外建築物環境配慮計画変更届出書を提出してください。



CASBEE横浜 [戸建](2022年版)
第I章 横浜市建築物環境配慮制度について



第Ⅱ章 横浜市建築物環境性能表示について

1 建築物環境性能表示の概要

(1) 建築物環境性能表示の目的

横浜市では、平成22年4月1日より、特定建築物について不動産広告等に建築物環境性能表示を義務付ける制度を導入しました。

建築物環境性能表示は、建築物環境配慮制度で届出が必要となる特定建築物の内、販売等を目的とした不動産広告等を行う際に、建築物の環境性能に関する情報を広告上に表示し、購入または貸借しようとする方にその情報を提供するためのものです。

平成24年4月1日より、2,000㎡未満の建築物における任意の届出制度の実施に伴い、届出を行った特定外建築物については、任意で建築物環境性能表示を行うことができますことになりました。

- 購入または賃借しようとする方に対し、環境に配慮した建築物を選択するための選択肢を提供する。
- 環境配慮型の建築物がより高く評価される市場の形成を図る。
- 建築主の自主的な環境配慮の取組を促す。

(2) 対象となる建築主

対象となる建築主は、建築物環境配慮計画制度の対象となる特定外建築物(戸建住宅)のうち、販売又は賃貸を目的として建築する戸建住宅(以下「販売等建築物」といいます。)を建築しようとする方(以下「販売等建築主」といいます。)です。

(3) 建築物環境性能表示の内容

特定外建築物(戸建住宅)を建設しようとする販売等建築主は、販売又は賃貸を目的とした広告をしようとするときは、当該販売等建築物の環境配慮への取組の結果を表す「建築物環境性能表示」を広告中表示することができます。

なお、CASBEEによる評価結果の有効期限は竣工後3年(新築の場合)であり、表示内容については長期間にわたる性能を保証するものではありません。



2 標章(ラベル)の表示内容

建築物環境配慮計画の取組状況の評価結果(CASBEE横浜[戸建]による環境性能の評価結果)に基づき、横浜市の4つの重点項目に対する取組度合いをふたば(🌱)の数、総合評価結果を星(★)の数で、標章(ラベル)に表示します。



図 II-1 横浜市建築物環境性能表示

(1)横浜市の戸建住宅の4つの重点項目

横浜市では、戸建住宅において特に取組を推進していただきたい項目として、「建築物の省エネルギー性能(E:Energy Saving)」、「健康・快適な職住環境(W:Smart Wellness Community)」、「防災への配慮(R:Resilience)」、「地域・まちづくりへの貢献(T:Township and Townscape)」の4つの項目を重点項目として位置付けています。各重点項目の評価結果は、CASBEE横浜[戸建]の公表用結果シートの中に、5点満点で得点表示されています。

(重点項目の得点の算定方法は、第三章 2 CASBEE横浜[戸建]の重点項目の評価方法を参照)

(2)総合評価




CASBEE横浜[戸建]による総合評価結果を表示します。

★★★★★	S	素晴らしい
★★★★☆	A	大変良い
★★★☆☆	B+	良い
★★★☆☆	B-	やや劣る
★★☆☆☆	C	劣る

(3)太陽光・太陽熱の利用

太陽光発電システム又は太陽熱利用システムが設置されている場合は、太陽のマークと文字を表示します。



太陽光発電システムを設置している場合	 太陽光利用
太陽熱利用システムを設置している場合	 太陽熱利用
太陽光発電及び太陽熱利用システムの両方を設置している場合	 太陽光・熱利用

(4)エネルギー消費量削減率

建築物省エネ法に基づく一次エネルギー消費量の基準値に対する削減率を表示します。計算による評価を行っていない場合は「-(%削減)」と表示します。

(5)受付No

横浜市に届出した受付番号を表示します。
※評価が確定し手続きが終了した後、番号をお伝えします。(返却する副本に番号を記載します。)

(6)受付日

横浜市に届出した受付日を表示します。

(7)ソフトのバージョン

評価を行ったCASBEE横浜[戸建]のソフトのバージョンを表示します。

2022年版のソフトの場合: 

※ソフトのバージョンは、メインシートなどに記載してあります。



図 II-2 メインシート画面(抜粋)



CASBEE横浜 [戸建](2022年版)
第II章 横浜市建築物環境性能表示について

CASBEE横浜 [戸建] 評価結果 | 4-000

CASBEE横浜 [戸建] 評価結果 | 4-000

横浜市建築物環境性能表示 戸建住宅

エネルギー消費量 XX%削減

省エネルギー性能

健康・安心

防災

地域・まちづくり

総合評価 ★★★★★

CASBEE横浜 [戸建] 20XX年版 No.XX-XXX

CASBEE横浜[戸建]のロゴ + 評価を行ったCASBEE横浜[戸建]のソフトのバージョンを表示

図 II-3 公表用結果シートとの対応



3 標章(ラベル)の作成方法

(1)建築物環境性能表示様式

標章(ラベル)は、環境性能表示作成ソフト Microsoft Excel に出力されたものを使用してください。

広告等に表示する際は、色やサイズ等に注意してください。



図 11-4 カラーの場合

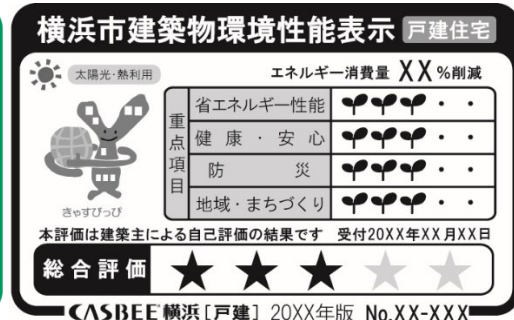


図 11-5 白黒の場合

- ・ソフトに必要事項を入力すると、その評価結果が標章(ラベル)に反映されます。
- ・標章(ラベル)をコピーして、広告表示用のデータとして使用することができます。

手順 1)「CASBEE横浜[戸建] 評価ソフト」「CASBEE横浜[戸建] 公表用ソフト」を使って、評価建物の「結果シート」「重点項目シート」を用意します。(操作は、本書第三章を参照)



手順2)「結果シート」「重点項目シート」から必要事項を「環境性能表示作成ソフト」の「結果入力」シートに転記します。

受付番号は手続完了後、お伝えします。

CASBEE横浜[戸建] 環境性能表示のための転記

水色のセルに入力します。

受付番号 **XX - XXX** 受付日 20XX/XX/XX

(1)CASBEE横浜[戸建] 公表用ソフト からの転記

ファイル名(任意入力)
★0-000[公表用]物件名称

重点項目シート

4 横浜市重点項目についての環境配慮目標		重点項目への取組(5点満点)
建築物の省エネルギー性能(E) Energy Saving	重点項目への取組(5点満点)	5
健康・快適な居住環境(W) Smart Wellness Community	重点項目への取組(5点満点)	5
防災への配慮(R) Resilience	重点項目への取組(5点満点)	4
地域・まちづくりへの貢献(T) Township and Townscape	重点項目への取組(5点満点)	4

太陽光発電又は太陽熱利用の導入

太陽光・熱利用

太陽光・熱の利用
太陽光利用

エネルギー消費量 **XX** %削減 ※計算によらない評価の場合は「-」を選択します。

(2)CASBEE横浜[戸建] 評価用ソフト からの転記

ファイル名(任意入力)
★0-000[評価用]物件名称

20XX 年版

CASBEE **B+ ★★★★★**

総合評価(★の数)
3

結果シート

2-1 すまいる環境効率(BEEランク&チャート)

★★★★★ B+

CASBEE横浜[戸建]の評価結果であるBEEランク(S~C)をプルダウンメニューで選択します。
<結果シートより>

図Ⅱ-6 環境性能表示作成ソフト「結果入力」シート



手順 3) 評価結果が環境性能表示シートに反映されます。注意事項をご確認の上、標章(ラベル)をコピーして広告用のデータとして使用してください。

横浜市建築物環境性能表示

※評価結果を表示させるには、「結果入力」シートに必要事項を入力します。

重点項目	の数の数
【省エネルギー性能】	3
【健康・安心】	3
【防災】	3
【地域・まちづくり】	3
総合評価 (★の数)	3
BEEランク	B+



標章(ラベル)を使用するときは、以下のことにご注意ください。

■対象となる建築物

平成22年4月1日以降に建築確認申請をする建築物で、販売又は賃貸を目的とした建築物が対象となります。

■ラベルについて

このラベルは、販売又は賃貸を目的とした広告を使用する場合のみ使用してください。

ラベルは、このシートで出力されたものか、評価ソフト(本ソフト内の公表用結果シート)に表示される評価結果を元に、建築物環境性能表示様式(PDF形式)を修正したものを使用してください。

MicrosoftExcelのバージョンによっては、ラベルのレイアウトが崩れる場合がありますので、その際は、建築物環境性能表示様式(PDF形式)を使用してください。

■このシートのラベルを使用する場合

下記の手順でコピーして使用してください。

- ①ラベルを選択
- ②コピー
- ③形式を選択して貼り付け
- ④貼り付ける形式:【図(拡張メタファイル)】を選択
- ⑤CMYK値による色に指定して印刷してください。

■CMYK値による色指定

下記の表の比率の色となるように印刷してください。

カラーの場合(白黒の場合は、マニュアルを参照してください。)

基本(緑)	C:90%、M:10%、Y:80%、K:0%
項目網掛け部分(黄緑)	C:13.5%、M:1.5%、Y:12%、K:0%
得点星印(赤)	C:0%、M:90%、Y:100%、K:0%
未得点星印(薄灰)	C:23%、M:16%、Y:13%、K:2%
白文字	C:0%、M:0%、Y:0%、K:0%
キャラクター(きやすびっぴ)	
体及び文字(青)	C:80%、M:40%、Y:0%、K:0%
顔(黒)	C:0%、M:0%、Y:0%、K:100%
窓(白)	C:0%、M:0%、Y:0%、K:0%
地球(緑)	C:80%、M:0%、Y:100%、K:0%
ライン(水色)	C:70%、M:0%、Y:0%、K:0%
戸建住宅の表示背景(橙)	C:0%、M:55%、Y:100%、K:0%
太陽光・熱の利用	
太陽(赤)	C:0%、M:90%、Y:100%、K:0%
文字(緑)	C:90%、M:10%、Y:80%、K:0%
網掛け部分(黄緑)	C:13.5%、M:1.5%、Y:12%、K:0%

■注意事項

- ・変形しないでください。
- ・構成要素を並び替えないでください。
- ・書体を変えないでください。
- ・構成要素の一部をとらないでください。

図 II-7 環境性能表示シート



(2)色指定

次のCMYK 値の比率の色となるように印刷してください。

表 II-1 建築物環境性能表示 色の指定

カラーの場合(4色分解による色指定)	白黒の場合
基本(緑) (C:90%、M:10%、Y:80%、K:0%)	基本(スミ100%) (C:0%、M:0%、Y:0%、K:100%)
項目網掛け部分(黄緑) (C:13.5%、M:1.5%、Y:12%、K:0%)	項目網掛け部分(スミ20%) (C:0%、M:0%、Y:0%、K:20%)
得点星印(赤) (C:0%、M:90%、Y:100%、K:0%)	得点星印(スミ100%) (C:0%、M:0%、Y:0%、K:100%)
未得点星印(薄灰) (C:23%、M:16%、Y:13%、K:2%)	未得点星印(スミ20%) (C:0%、M:0%、Y:0%、K:20%)
白文字 (C:0%、M:0%、Y:0%、K:0%)	白文字 (C:0%、M:0%、Y:0%、K:0%)
キャラクター(きやすびつぴ)	キャラクター(きやすびつぴ)
体及び文字(青) (C:80%、M:40%、Y:0%、K:0%)	体(スミ65%) (C:0%、M:0%、Y:0%、K:65%)
顔(黒) (C:0%、M:0%、Y:0%、K:100%)	顔及び文字(黒) (C:0%、M:0%、Y:0%、K:100%)
窓(白) (C:0%、M:0%、Y:0%、K:0%)	窓(白) (C:0%、M:0%、Y:0%、K:0%)
地球(緑) (C:80%、M:0%、Y:100%、K:0%)	地球(スミ45%) (C:0%、M:0%、Y:0%、K:45%)
ライン(水色) (C:70%、M:0%、Y:0%、K:0%)	ライン(スミ30%) (C:0%、M:0%、Y:0%、K:30%)
戸建住宅の表示背景(橙) (C:0%、M:55%、Y:100%、K:0%)	戸建住宅の表示背景(スミ50%) (C:0%、M:0%、Y:0%、K:50%)
太陽光・熱の利用	太陽光・熱の利用
太陽(赤) (C:0%、M:90%、Y:100%、K:0%)	太陽(スミ75%) (C:0%、M:0%、Y:0%、K:75%)
文字(緑) (C:90%、M:10%、Y:80%、K:0%)	文字(黒) (C:0%、M:0%、Y:0%、K:100%)
網掛け部分(黄緑) (C:13.5%、M:1.5%、Y:12%、K:0%)	網掛け部分(スミ20%) (C:0%、M:0%、Y:0%、K:20%)



(3) サイズ及び文字

CASBEE横浜により出力された標章を拡大する場合は、図(拡張メタファイル)形式によるなど、文字やキャラクター、ふたば(🌱)、星印(★)等の配置や大きさなどについての割合、比率は変更しないでください。

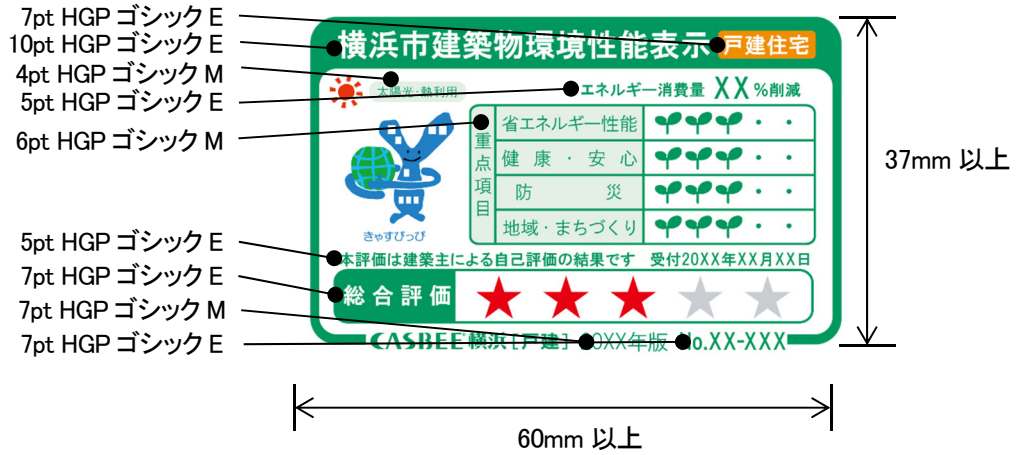


図 II-8 サイズ及び文字

(4) 5段階評価を表すふたば(🌱)の数と位置について

5段階評価を表すふたば(🌱)の数は、CASBEE横浜の4つの重点項目についての評価結果を基に表示します。

ふたば(🌱)を表示する位置は、重点項目の取組度合いが1の場合は一番左の位置にふたば(🌱)を、その右側に丸印(●●●●)を4つ表示します。

取組度合いが2以上の場合は、取組度合いをふたば(🌱)の数とし、丸印(●)を含めて印が5つとなるよう表示します。

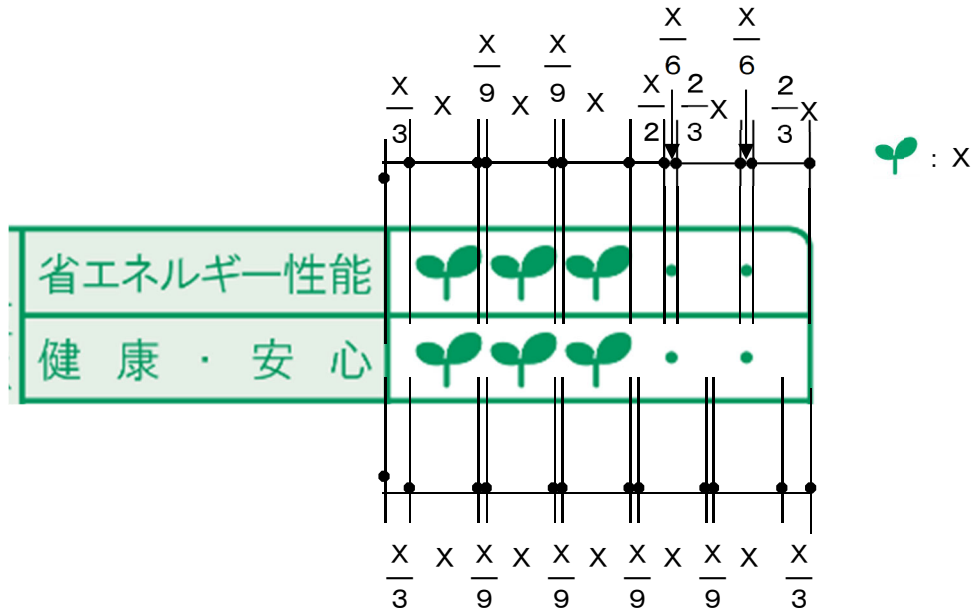
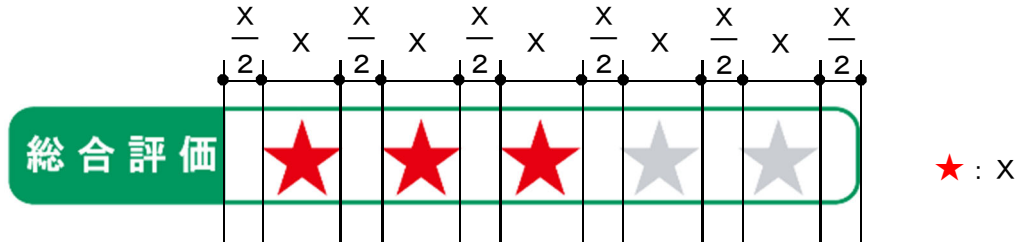


図 II-9 重点項目の表示方法



(5)5段階評価を表す星(★)の数と位置について

5段階評価を表す星(★)の数は、CASBEE横浜の評価結果を基に星の数を表示します。星を表示する位置は、星印が1つ(★)の場合は一番左側の位置に星印を、その右側に未得点の星印4つ(★★★★)を表示します。星印が2つ(★★)の場合は一番左側及びその右側の位置に星印を表示し、星印3つ以降については順次星印を右側に追加して表示し、未得点の星印を含めて印が5つとなるよう表示します。

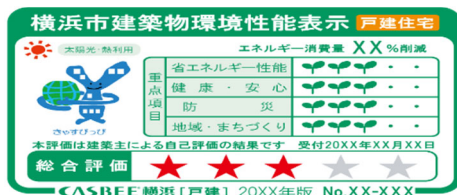


図Ⅱ-10 総合評価の表示方法

(6)留意事項

それぞれの項目などを変更することはできません。

■変形してはならない



■構成要素を並べ替えてはならない



■書体を変えてはならない



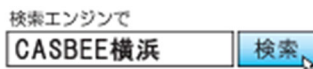
■構成要素の一部をとってはならない



図Ⅱ-11 表示してはならない例

(7)様式のダウンロード

環境性能表示作成ソフト(Microsoft Excel)は、CASBEE横浜のホームページからダウンロードできます。





(8)表示できる広告の例

建築物環境性能表示は、見やすい場所に1箇所以上表示できます。
(販売等建築物全体を広告するものに限る)

① 新聞に掲載される広告

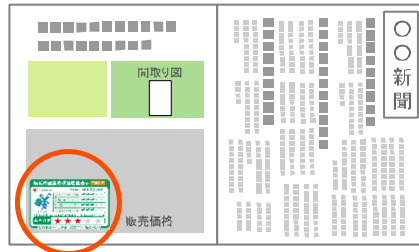


図 II-12 新聞広告例

② 雑誌に掲載される広告



図 II-13 雑誌広告例

- ③ 新聞への折り込みその他の方法により配布されるチラシ、掲出されるビラ、パンフレット、小冊子等
- ④ 電子的方式、磁気的方法その他の人の知覚によって認識することができない方法による記録その他これらに類似するもの(CD、DVD、ビデオテープなど)
- ⑤ インターネットの利用による広告



図 II-14 インターネット広告例

(9)同一敷地内の複数棟を同一の広告に掲載する場合の取扱い

- ① 販売等建築物一棟ごとに建築物環境性能表示を表示します。

この場合、販売等建築物と建築物環境性能表示との対応関係が分かるよう、対象となる棟名などを建築物環境性能表示の隣接した箇所にわかりやすく表示するなどしてください。

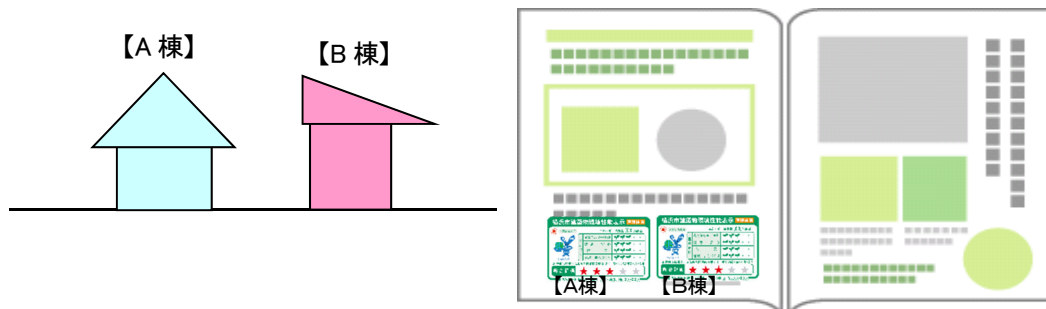


図 II-15 複数棟の広告例



- ② 評価結果が全く同一となる販売等建築物が複数棟ある場合には、まとめて一つの建築物環境性能表示とすることができます。

4 販売等受託者の役割

販売等建築主が、販売等建築物の広告、販売若しくは媒介を委託する場合、広告、販売若しくは媒介の委託先(以下、「販売等受託者」といいます。)に建築物環境性能表示を行わせることができます。また、販売等受託者は、建築物環境性能表示の表示等に協力してください。

5 建築物環境性能表示の表示の届出

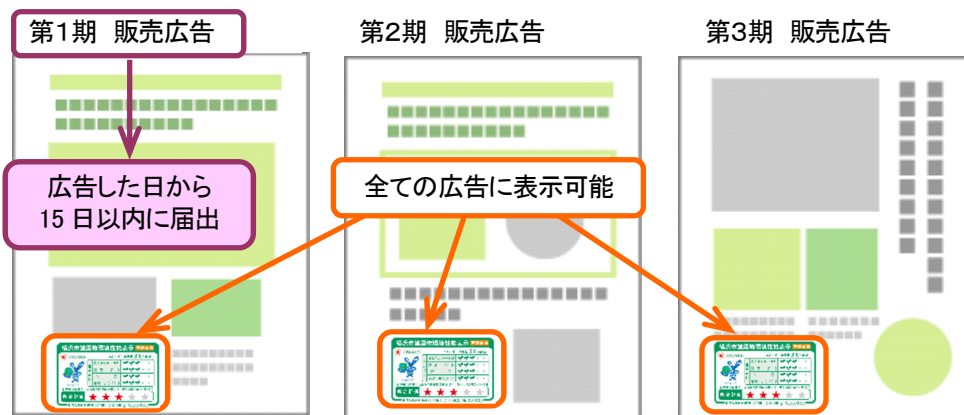
(1)表示の届出

販売等建築主は、建築物環境性能表示を広告に表示したときは、その日から起算して15日以内に、「特定外建築物環境性能表示(変更)届出書」(P34 参照)に広告又はその写しを添付して届け出てください。(正副2部)

表示の届出後、広告表示がされていることをCASBEE横浜ホームページに公表します。

同じ販売等建築物について、複数回にわたって広告を行う場合(図Ⅱ-16)、建築物環境性能表示は全ての広告に表示することができます。届出は、最初に表示を行った広告時に行ってください。

同一敷地内に販売等建築物が複数棟ある場合は、それぞれの販売等建築物ごとに、最初に表示を行った広告時に届け出てください。



図Ⅱ-16 複数回にわたって広告する例

(2)届出書に添付する広告又はその写し

届出書に添付する広告又はその写しは、磁気的方法又は光学的方法その他の知覚によって認識することができない方法により記録したもの(CD、DVD、ビデオテープなど)やインターネットの利用によるもの場合は、広告内容及び建築物環境性能表示が確認できる箇所を印刷したものを広告の写しとして添付してください。



6 変更後の表示の取扱い

(1) 建築物環境性能表示の内容に変更が生じた場合

建築物環境配慮計画の内容に変更が生じたことなどにより、建築物環境性能表示の内容に次のような変更が生じた場合は、変更後の新たな広告表示及び届出をしてください。

- ① 横浜市の重点項目の各評価項目における得点、ふたば (🌱) の数に変更が生じる場合
- ② 総合評価の星印(★)の数に変更が生じる場合
- ③ 太陽光発電又は太陽熱利用の導入に変更が生じる場合
- ④ エネルギー消費量の削減率に変更が生じる場合



図 II-17 変更箇所

(2) 変更後の建築物環境性能表示による広告

変更後、速やかに建築物環境性能表示を変更して広告に表示してください。この場合、変更したことが分かるよう、変更した内容を建築物環境性能表示の隣接した箇所にわかりやすく表示するなどしてください。

例:「地域・まちづくり」については、評価が変更になっています(評価を変更しました。)
「防災」については、評価が3点から4点に上がりました。

(3) 建築物環境性能表示の変更後の届出

変更後の建築物環境性能表示を広告に表示した日から起算して15日以内に、「特定外建築物環境性能表示(変更)届出書」に変更後の表示を行った広告又はその写しを添付して届け出てください。

また、当該建築物を購入又は賃借しようとする方や既に契約を締結した方に対し、変更内容を説明してください。

7 購入者等への説明

販売等建築主及びその販売等受託者は、当該建築物の購入又は賃借しようとする方に対し、当該建築物に係る次の説明に努めてください。

- ① 建築物環境配慮計画が示す環境性能
- ② 建築物環境性能表示の標章(ラベル)が示す内容と評価の意味
- ③ 建築物環境配慮計画の内容の概要が横浜市のホームページに掲載されていること
- ④ 建築物環境性能表示は、横浜市特定外建築物環境配慮計画の届出に関する要綱に基づく表示であること
- ⑤ 表示内容は建築主が自ら評価した建築物環境配慮計画に基づいた結果であること
- ⑥ 建築物環境性能表示を変更した場合は、その変更内容



8 指導・助言

建築物環境性能表示について、表示の届出をしていない場合には、改善を求める指導を行う場合があります。

9 その他の注意事項

(1) 適正な表示

横浜市生活環境の保全等に関する条例の関係規定、不当景品類及び不当表示防止法、社団法人首都圏不動産公正取引協議会不動産の表示に関する公正競争規約など、関係法令等を遵守して適正な表示を行ってください。

(2) 建築物環境性能表示における評価結果

建築物環境性能表示は横浜市が認証を与えるものではなく、販売等建築主の自主的な環境配慮への取組結果を表示するものです。

(3) 宅地建物取引業法の重要事項説明との関係

建築物環境性能表示の内容は、宅地建物取引業法が定める重要事項説明には該当しませんが、販売等建築物を購入しようとする方へ説明をするようにしてください。



10 建築物環境性能表示の手続の流れ

建築物環境性能表示の手続の流れ(フロー図)を以下に示します。

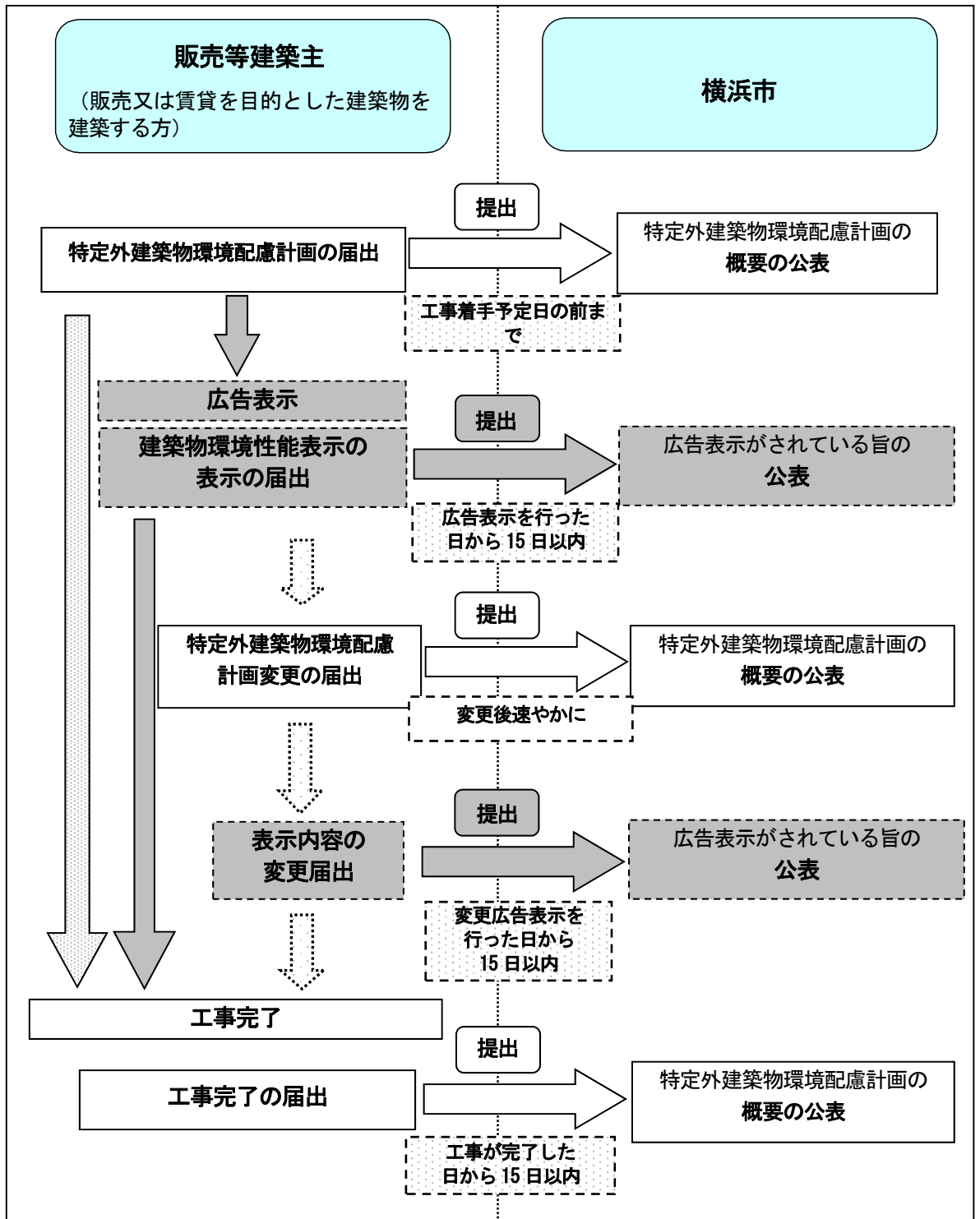


図 II-18 建築物環境性能表示の手続の流れ(フロー図)



11 届出様式及び注意事項

特定外建築物環境性能表示(変更)届出書の記入上の注意事項

第5号様式

特定外建築物環境性能表示(変更)届出書

年 月 日

(届出先)
横浜市 市長

届出者は販売等建築主です。

届出者(特定外建築主)氏名

(法人にあっては、名称及びその代表者の氏名)

横浜市特定外建築物環境配慮計画の届出に関する要綱第8条の規定により、次のとおり届け出ます。

1 特定外建築主	フリガナ 氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 郵便番号 住所	届出者(販売等建築主)の住所等を記載してください。
2 特定外建築物の名称及び所在地	フリガナ 名称 所在地	特定外建築物環境配慮計画届出書の受付番号を記載してください。
3 特定外建築物環境配慮計画届出書等の受付番号	特定外建築物環境配慮計画届出書 第 号 特定外建築物環境配慮計画変更届出書 第 号	
4 広告日	年 月 日	最初に広告に表示した日を記入してください。※広告をした日から15日以内に届出が必要です。
5 広告又はその写し	別添のとおり	広告又はその写しを添付して提出してください。
6 販売等受託者	フリガナ 氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 郵便番号 住所 電話番号	
7 備考		変更届の場合は、特定外建築物環境性能表示届出書の受付番号及び変更の概要を記載してください。
※受付処理欄	※特	※欄は記入しないでください。

- 備考
- ※印のある欄は、記載しないでください。
 - この届出書は、特定外建築物ごとに提出してください。
 - 届出の変更の際は、7欄に特定外建築物環境性能表示届出書受付番号及び変更の概要を記載してください。



第Ⅲ章 建築物環境配慮計画の作成方法等について

1 「CASBEE横浜[戸建]」の作成方法

1.1 CASBEE横浜[戸建]の構成

届出対象建築物の建築物環境配慮計画を作成して届け出するためには、1)届出建築物の環境性能評価、2)評価結果に基づく公表シートの作成、を行う必要があります。

届出建物の環境性能評価(1.2 参照)

「CASBEE横浜[戸建] 評価用ソフト」
「CASBEE-戸建(新築)評価マニュアル 2018 年版」
「CASBEE-戸建(新築)評価マニュアル(2021 年 SDGs 対応版)」

公表シートの作成(1.3 参照)

「CASBEE横浜[戸建] 公表用ソフト」
「CASBEE横浜[戸建]作成マニュアル(本書)」

1.2 「CASBEE横浜[戸建]」による環境性能評価

(1)必要なソフト及びマニュアル

- ・ 「CASBEE横浜[戸建] 評価用ソフト」
届出対象建築物の環境性能評価を行うためのソフトウェアです。
CASBEE横浜のホームページからダウンロードして使用します。
- ・ 「CASBEE-戸建(新築)評価マニュアル 2018 年版」
「CASBEE-建築(新築) 評価マニュアル(2021 年 SDGs 対応版)」
・ ※CASBEE横浜 2022 年版より、SDGs対応版となりました。SDGs 評価を行う場合(任意)は「CASBEE-戸建(新築) 評価マニュアル(2021 年 SDGs 対応版)」を参照してください。
- ・ 横浜独自項目の評価や及び各ソフトの操作にあたっては、当マニュアルを参照します。

「CASBEE-戸建(新築)評価マニュアル 2018 年版」の入手方法
CASBEE-戸建(新築)評価マニュアルは、一般財団法人建築環境・省エネルギー機構から発行されており、インターネットの次のサイトから無償でダウンロード(PDF ファイル形式)できます。
http://www.ibec.or.jp/CASBEE/cas_home/cas_home_download.htm

なお、ダウンロードにはユーザー登録が必要になります。
また、当財団より印刷物として販売されていますので、購入することもできます。(「CASBEE-戸建(新築) 評価マニュアル(2021 年 SDGs 対応版)」は販売のみで PDF 版ダウンロードはありません)



SDGs 対応版では、SDGs 達成に向けた取組み努力を自己検証するための「建築環境 SDGs チェックリスト」が整備されています。建築環境 SDGs の評価項目の集合と CASBEE の評価項目の集合には重なる項目があるため、該当項目の評価には CASBEE の評価結果を援用することで評価にかかる負担軽減がされています。

SDGs の評価は任意となっていますが、SDGs 達成に資する各種取組を簡便に自己評価し、関係者に明示することができます。ぜひ、サステナビリティ推進活動にお役立てください。



(2)CASBEE横浜[戸建]のシート構成について

CASBEE横浜[戸建]は次のようなシートにより構成されています。

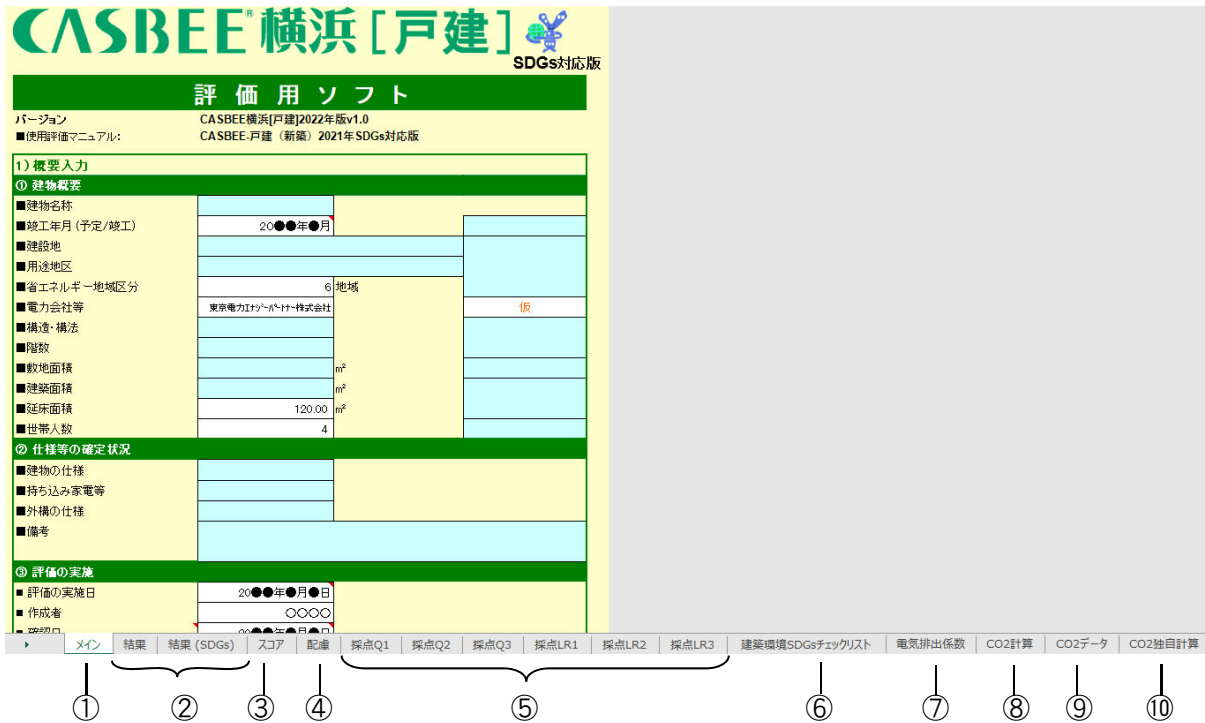


図 III-1 メインシート画面

- ① メインシート : 基本データを入力してください。
- ② 結果シート : 評価の結果を、グラフ・レーダーチャートなどで表示します。
 ※SDGs 評価の有無にあわせてどちらかを選択します。
- ③ スコアシート : 採点シートで採点した結果を一覧で表示します。
- ④ 配慮シート : Q_H1～LR_H3 各項目における環境配慮事項を記述します。
- ⑤ 採点シート : 各項目について、採点を入力するシートです。
 Q_H-1 室内環境を快適・健康・安心にする
 Q_H-2 長く使い続ける
 Q_H-3 まちなみ・生態系を豊かにする
 LR_H-1 エネルギーと水を大切に使う
 LR_H-2 資源を大切に使いごみを減らす
 LR_H-3 地球・地域・周辺環境に配慮する
- ⑥ 建築環境SDGsチェックリスト : 排出係数を独自に設定する場合に入力します。
- ⑦ 電気排出係数 : 排出係数を独自に設定する場合に入力します。
- ⑧ CO₂計算シート : LCCO₂の簡易計算法の過程です。
- ⑨ CO₂データ : 計算用のデータベースや重み係数一覧です。
- ⑩ CO₂独自計算 : LCCO₂の独自結果の入力シートです



(3)メインシートへの必要事項の記入

評価ソフトを起動すると、始めにこのシートが表示されます。メインシートに評価する建物の概要(名称、床面積等)をまず記入します。

メインシートに記述した事項は、結果シートにおける概要欄等に反映されます。


CASBEE [®] 横浜 [戸建]  SDGs対応			
評価用ソフト			
バージョン	CASBEE横浜[戸建]2022年版v1.0		
■使用評価マニュアル:	CASBEE-戸建(新築)2021年SDGs対応版		
1)概要入力			
① 建物概要			
■建物名称			
■竣工年月(予定/竣工)	20●●年●月		
■建設地			
■用途地区			
■省エネルギー地域区分	6	地域	
■電力会社等	東京電力エナジーパートナー株式会社		仮
■構造・構法			
■階数			
■敷地面積		m ²	
■建築面積		m ²	
■延床面積	120.00	m ²	
■世帯人数	4		
② 仕様等の確定状況			
■建物の仕様			
■持ち込み家電等			
■外構の仕様			
■備考			
③ 評価の実施			
■評価の実施日	20●●年●月●日		
■作成者	○○○		
■確認日	20●●年●月●日		
■確認者	□□□		
■温暖化影響チャートの計算	戸建標準計算		
2)各シートの表示			
入力シート	●採点Q1	●採点Q2	●採点Q3
	●採点LR1	●採点LR2	●採点LR3
	●配慮	●CO2独自計算	
計算シート	●スコア	●CO2計算	
評価結果表示シート	●結果		
データベースシート	●重み	●CO2データ	●電気排出係数

図 Ⅲ-2 ①「メインシート」入力画面



(4) 「配慮」シート

配慮シートには、Q_{H1}～LR_{H3} 各項目における環境配慮事項及び、総合的なコンセプトを記述します。「その他」の欄にはCASBEEで評価し難い環境配慮の取組のほか、横浜市の制度等の適用がある場合に、その旨を記載します。

- ・都市計画提案制度 など

■ 環境設計の配慮事項		■ 建物名称	N部
設計上の配慮事項			
総合			
LR _{H3} 地球・地域・周辺環境に配慮する			
その他			

図 Ⅲ-3 ④「配慮」シート

(5) 「スコア」シート

スコアシートには、各採点シートで入力した評価結果(評価点)と「具体的な取組」が自動的に転記されます。評価点が3点を超える場合は、具体的な取組について記述していただきますので、各採点シートの取組欄に入力するようにしてください。

スコアシートには「評価点」の右横に示される「重み係数」を用いて計算されるQ_HとL_H、及び大・中項目ごとのスコアも併せて示されます。

本シートは全採点項目の評価結果とスコアの一覧表であり、「結果」シートと合わせて確認することで、より詳細な分析が可能となります。また、6枚にわたる採点シートの入力ミスを確認する場合にも活用することができます。

図 Ⅲ-4 は Q_{H1} の表示例です。「評価点」欄が「採点 Q1」シートで入力した評価結果であり、「重み係数」欄に示される重みを使いスコア換算した結果が「全体」欄に表示されます。

CASBEE横浜[戸建]2022年版v1.0		■使用評価マニュアル: CASBEE-戸建(新築)2021年SDGs対応 ■評価ソフト: CASBEE横浜[戸建]2022年版v1.0			
スコアシート					
配慮項目	重点項目	具体的な取組み一覧	評価点	重み係数	全体
Q _H すまいの環境品質					3.0
Q _{H1} 室内環境を快適・健康・安心にする				0.45	3.0
1 暑さ・寒さ			3.0	0.50	3.0
1.1 基本性能			3.0	0.50	
1 1 断熱等性能の確保	W4		3.0	0.80	
1 2 日射の調整機能	W4		3.0	0.20	
1.2 夏の暑さを防ぐ			3.0	0.25	
1 1 風を取り込み、熱気を逃がす			3.0	0.50	
1 2 適切な冷房計画			3.0	0.50	
1.3 冬の寒さを防ぐ			3.0	0.25	
1 1 適切な暖房計画			3.0	1.00	
2 健康と安全・安心			3.0	0.30	3.0
2.1 化学汚染物質の対策	W5		3.0	0.25	
2.2 適切な換気計画	W5		3.0	0.25	
2.3 犯罪に備える	W5		3.0	0.25	
2.4 災害に備える	R7		3.0	0.25	
3 明るさ			3.0	0.10	3.0
3.1 星光の利用			3.0	1.00	
4 静かさ			3.0	0.10	3.0

図 Ⅲ-4 ③「スコア」シート



(7) 「結果」シートの見方

図 III-6 に結果シートの表示例を示します。ここでは、これまでのシートで入力した情報、及び計算した結果が全て表示されます。このシートで、対象建物の評価結果の概要がグラフと数値で分かるようになっています。

設計段階や契約段階の打ち合わせ等での利用を想定し、このシートはA4サイズでプリントアウトされるように予め設定されています。

以下に本シートの表示内容と見方を説明します。

CASBEE横浜の公表用結果シート このシートは公表します。

1-1 建物概要
 「メイン」シートの入力情報が表示されます。外観パース・写真を表示するスペースがあります。

2-1 すまいの環境効率総合評価の結果
 BEE = 1.0 (★★★★★)

2-2 ライフサイクルCO2
 ライフサイクルCO2の評価結果

2-3 大項目の評価
 大項目単位のスコア

2-4 中項目の評価
 中項目単位のスコア

2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果
 SDGs評価ありの場合、レーダーチャート部分がSDGs評価結果の表示になります

3 設計上の配慮事項

1-2 外観
 外観パース

1-1 建物概要
 建物名称: 0
 竣工年月: 20●●年●●月 0.0
 種別: 0
 用途地域: 0
 構造・構造: 0
 敷地面積: 0 m²
 延床面積: 0 m²
 延床面積: 120 m²
 世帯人数: 4

1-2 外観
 仕様等の決定状況
 建物の仕様: 0.00
 持ち込み家電等: 0
 外観の仕様: 0

2-1 戸建の環境効率(BEEランクチャート)
 BEE = 1.0 (★★★★★)

2-2 ライフサイクルCO₂(環境影響チャート)
 ライフサイクルCO₂の排出量

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
 Q1 室内環境を快適・健康・安心にする (スコア 3.0)
 Q2 長く使い続ける (スコア 3.0)
 Q3 まちなみ・生態系を豊かにする (スコア 3.0)
 LR1 エネルギーと水を大切に使う (スコア 3.0)
 LR2 資源を大切に使いゴミを減らす (スコア 3.0)
 LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する (スコア 3.0)

2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果
 3(9目標): 1.8
 4(教育): 1.5
 5(社会): 1.5
 6(水・衛生): 1.3
 7(エネルギー): 1.5
 8(経済・雇用): 1.5
 9(産業・インフラ): 2.0
 11(都市): 1.9
 12(消費・生産): 1.8
 13(気候変動): 1.8
 15(陸上生態系): 1.3
 17(気候変動): 1.5

3 設計上の配慮事項

図 III-6 ②「結果」シートの表示例



1.3 CASBEE横浜[戸建] 公表用ソフト

「CASBEE横浜[戸建] 公表用ソフト」は、横浜市の4つの重点項目(E:建築物の省エネルギー性能、W:健康・快適な職住環境、R:防災への配慮、T:地域・まちづくりへの貢献)への取組内容をわかりやすく公表するための「重点項目シート」「公表用スコアシート」を作成するために使用します。

(横浜市の重点項目については、第Ⅰ章-7参照)

(1)CASBEE横浜[戸建] 公表用ソフトのシート構成

CASBEE横浜[戸建] 公表用ソフトのシートは、次の4枚構成です。

- [1] 重点項目入力シート :4つの重点項目への取組内容と得点を記述します。
- [2] 重点項目シート :[1]で入力した内容を表示します。〈出力用〉
- [3] スコア転記シート :CASBEE横浜[戸建]評価用ソフトの評価結果(スコアシート)を転記(コピー&ペースト)します。
- [4] 公表用スコアシート :[3]で転記された各項目のスコアを公表用フォーマットで表示します。〈出力用〉

(2)[1]重点項目入力シートへの入力

ここで記載の取組内容は、[2] 重点項目シートでそのままホームページ等に公表しますので、できる限り分かりやすく記述するようにしてください。横浜市の4つの重点項目(E:建築物の省エネルギー性能、W:健康・快適な職住環境、R:防災への配慮、T:地域・まちづくりへの貢献)に該当する取組内容を記述してください。(横浜市の重点項目については、第Ⅰ章-7参照)

各重点項目に含まれる環境配慮の範囲が広い場合、重点項目ごとに丸囲み数字で小項目を挙げています。スコアシートより具体的な取組を見ながら、該当する小項目(①～)の番号を示し、配慮内容を記述してください。

その他の配慮事項の欄には、横浜市重点項目以外の取組内容で、その住宅のアピールポイントとなる取組や、CASBEEで評価し難い取組などがあれば、記述してください。

なお、各重点項目における取組の得点は、次節「2. CASBEE横浜[戸建]の重点項目の評価方法」に基づいて評価・算出しますが、次の「(3)「CASBEE横浜[戸建] 評価用ソフト」からのコピーと貼付け」により自動算出した結果を入力します。

「(3)「CASBEE横浜[戸建] 評価用ソフト」からのコピーと貼付け」を行った場合は、スコアが3を超える得点となった項目が、入力シート上に赤字で表示されますので、必ず環境配慮設計の概要を入力してください。



CASBEE横浜[戸建]

重点項目への取組内容の入力

建物名称: ○○邸 受付番号: 28 - 000 受付日: 2016/XX/XX

4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 3

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

■省エネルギー性能(国土交通省告示に基づく表示)

◆一次エネルギー消費量の削減率 B/E= 0.90 ※計算にらない評価の場合に選択

◆省エネルギー基準への適合 一次エネルギー消費量 適合 外皮基準 適合

■エネルギーを大切に使う (①建築物の工夫 ②設備の性能)

省エネルギー計算の結果を入力します。

建築物の省エネルギー性能 (E)
 ■エネルギーを大切に使う(① 建築物の工夫 ②...)
 E ①

重点項目への取り組み度合いが算出されます。

重点項目の内、3点を超える項目について、取組内容を記述してください。(必須)
 (スコアシートの転記を行った場合は項目が赤字になります。)

(1行あたり60字以内で入力してください。)

環境配慮技術の導入

注:「あり」の場合は、導入規模などを上欄の該当箇所に記載してください。

太陽光発電などの導入	燃料電池	なし	※エネファームなど
太陽光利用	コジェネレーション	なし	※エネファームなど
エネルギーマネジメントシステム導入	蓄熱設備	あり	※貯湯式家庭用ヒートポンプ給湯器(エコキュート)含む
HEMS	蓄電池	なし	※V2H(電気自動車からの給電設備)含む
CEMS	雨水等利用設備	なし	
	その他	なし	技術名 XXX

太陽光発電や太陽熱利用、エネルギーマネジメントシステム他、環境配慮技術の導入の有無をプルダウンメニューから選びます。「あり」を選んだ技術については具体的な導入規模等を、該当する重点項目の記述欄に記入します。

図 III-7 [1]重点項目入力シート



(3)「CASBEE横浜[戸建] 評価用ソフト」からのコピーと貼付け

[3] スコア転記シート(「スコア転記」)

「CASBEE横浜[戸建] 評価用ソフト」のスコアシートから、図に赤枠で示す範囲をコピーし「CASBEE横浜[戸建] 公表用ソフト」の「スコア転記シート」の赤枠内に、ペースト(値で貼付け)します。

※「CASBEE横浜[戸建] 評価用ソフト」のスコアシートのコピー範囲:セル M3:Q86

スコアシート(CASBEE横浜[戸建] 評価用ソフト)

CASBEE横浜[戸建]2022年版v1.0		■使用評価マニュアル: CASBEE-戸建(新築)2021年SDGs対応 ■評価ソフト: CASBEE横浜[戸建]2022年版v1.0			
スコアシート		一覧	評価点	重み係数	全体
配慮項目					
QH すまいの環境品質					3.0
QH1 室内環境を快適・健康・安心にする				0.45	3.0
1 暑さ・寒さ			3.0	0.50	3.0
1.1 基本性能			3.0	0.50	
1 断熱性能の確保		W4	3.0	0.80	
2 日射の調整機能		W4	3.0	0.20	
1.2 夏の暑さを防ぐ			3.0	0.25	
1 風を取り込み、熱気を逃がす			3.0	0.50	
2 適切な冷房計画			3.0	0.50	
1.3 冬の寒さを防ぐ			3.0	0.25	
1 適切な暖房計画			3.0	1.00	
2 健康と安全・安心			3.0	0.30	3.0
2.1 化学汚染物質の対策		W5	3.0	0.25	
2.2 適切な換気計画		W5	3.0	0.25	
2.3 犯罪に備える		W5	3.0	0.25	
2.4 災害に備える		R7	3.0	0.25	
3 明るさ					
3.1 使用材料の情報提供			3.0	0.10	3.0
LRH3 地球・地域・周辺環境に配慮する				0.30	3.0
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33	3.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	3.0
2.1 地域インフラの負荷抑制			3.0	0.50	
2.2 既存の自然環境の保全			3.0	0.50	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	3.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減			3.0	0.50	
3.2 周辺温熱環境の改善			3.0	0.50	

スコア転記シート(CASBEE横浜[戸建] 公表用ソフト)

CASBEE横浜[戸建] (2022年版)		■使用評価マニュアル: CASBEE-戸建(新築)2021年SDGs対応 ■バージョン: CASBEE横浜[戸建]2022年版v1.0			
スコアシート		重点項目: E:省エネルギー性能、健康・安心、R:防災、T:地域・まちづくり			
スコアシート		建物全体・共用部分			
配慮項目		評価点	重み係数	全体	
QH すまいの環境品質					3.0
QH1 室内環境を快適・健康・安心にする			0.45		3.0
1 暑さ・寒さ		3.0	0.50		3.0
1.1 基本性能		3.0	0.50		
1 断熱性能の確保		5.0	0.80		
2 日射の調整機能		3.0	0.20		
1.2 夏の暑さを防ぐ		3.0	0.25		
1 風を取り込み、熱気を逃がす		3.0	0.50		
2 適切な冷房計画		3.0	0.50		
1.3 冬の寒さを防ぐ		3.0	0.25		
1 適切な暖房計画		3.0	1.00		
2 健康と安全・安心		3.0	0.30		3.0
2.1 化学汚染物質の対策		3.0	0.25		
2.2 適切な換気計画		3.0	0.25		

図 III-8 CASBEE横浜[戸建]評価用ソフトから「[3]スコア転記」シートへのコピー&ペースト



(5)公表用シートの出力

[2] 「CASBEE横浜[戸建]」重点項目シート

重点項目シートは、横浜市の4つの重点項目(E:建築物の省エネルギー性能、W:健康・快適な職住環境、R:防災への配慮、T:地域・まちづくりへの貢献)への取組内容を5点満点で表示し、わかりやすく公表するためのものです。

[4] 「CASBEE横浜[戸建]」公表用スコアシート

公表用スコアシートには、横浜市重点項目である「建築物の省エネルギー性能(E: Energy Saving)」、「健康・快適な職住環境(W: Smart Wellness Community)」、「防災への配慮(R: Resilience)」、「地域・まちづくりへの貢献(T: Township and Townscape)」に主として該当する項目が表示されているので、各重点項目に対応する具体的な取組の自己評価結果がわかるようになっています。



重点項目シート このシートは公表します。

CASBEE横浜 [戸建] | 評価結果 | **4-000** CASBEE横浜[戸建]2022年版v.1.0

4 横浜市重点項目についての環境配慮概要			
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		建物名称 ○○邸	
建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving	重点項目への取組(5点満点)	【省エネルギー性能】	3
■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)			
この建物の設計一次エネルギー消費量		10	%削減
		一次エネルギー消費量基準	適合
		外皮基準	適合
		受付日	2022/XX/XX
■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)			
健康・快適な居住環境 (W) Smart Wellness Community	重点項目への取組(5点満点)	【健康・安心】	3
■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)			
◆断熱等性能等級 等級4		(相当)	
■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)			
■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)			
◆工夫の有無		なし	
防災への配慮 (R) Resilience		重点項目への取組(5点満点)	【防災】 3
■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)			
地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape		重点項目への取組(5点満点)	【地域・まちづくり】 3
■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)			
太陽光発電などの導入		環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)	
太陽光利用		燃料電池 ・	
		雨水等利用設備 ・	
エネルギーマネジメントシステム導入			
HEMS			

図 III-9 [2]重点項目シート



公表用スコアシート このシートは公表します。

CASBEE[®]横浜 [戸建] | 評価結果 | 4-000

CASBEE横浜[戸建] (2022年版)		バージョン : CASBEE横浜[戸建]2022年版v.1.0		
スコアシート				
配慮項目	重点項目	評価点	重み係数	全体
Q₁ すまいの環境品質		-	-	3.0
Q_{1.1} 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	3.0
1 暑さ・寒さ		3.0	0.50	3.0
1.1 基本性能		3.0	0.50	-
1 断熱性能の確保		5.0	0.80	-
2 日射の調整機能		3.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		3.0	0.25	-
1 風を取り込み、熱気を逃がす		3.0	0.50	-
2 適切な冷房計画		3.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		3.0	0.25	-
1 適切な暖房計画		3.0	1.00	-
		3.0	0.30	3.0
2 健康と安全・安心		3.0	0.25	-
2.1 化学汚染物質の対策		5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画		3.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える		3.0	0.25	-
2.4 災害に備える		3.0	0.25	-
3 明るさ		3.0	0.10	3.0
3.1 昼光の利用		3.0	1.00	-
4 静かさ		3.0	0.10	3.0
Q_{1.2} 長く使い続ける		-	0.80	3.0
1 長寿命に対する基本性能		3.0	0.50	3.0
1.1 躯体		3.0	0.30	-
1.2 外壁材		3.0	0.10	-
1.3 屋根材・排屋根		3.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える		3.0	0.30	-
1.5 火災に備える		3.0	0.20	-
1 火災に耐える構造		3.0	0.65	-
2 火災の早期感知		3.0	0.35	-
2 維持管理		3.0	0.25	3.0
2.1 維持管理のしやすさ		3.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		3.0	0.35	-
3 適応性		3.0	0.25	3.0
3.1 広さと閉まり		3.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		3.0	0.50	-
Q_{1.3} まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.26	3.0
1 まちなみ・景観への配慮		3.1	0.30	3.0
2 生物環境の創出		3.1	0.30	3.0
2.1 敷地内の緑化		3.1	0.65	-
2.2 生物の生物環境の確保		3.1	0.35	-
3 地域の安全・安心		3.0	0.20	3.1
4 地域の資源の活用と住文化の継承		3.0	0.20	3.0
LR₁ すまいの環境負荷低減性		-	-	3.5
LR_{1.1} エネルギーと水を大切に使う		-	0.86	4.3
1 総合的な省エネ		4.8	0.75	4.8
1.1 躯体と設備による省エネ		5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ		3.0	0.10	-
2 水の節約		3.0	0.15	3.0
2.1 節水型設備		3.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫		3.0	0.10	3.0
3.1 住まい方の提示		3.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御		3.0	0.50	-
LR_{1.2} 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.86	3.0
1 省資源・廃棄物削減に役立つ材料の採用		3.0	0.60	3.0
1.1 構造躯体		3.0	0.30	-
1 木質系住宅		3.0	1.00	-
2 鉄骨系住宅		3.0	-	-
3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地盤・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		3.0	0.20	-
1.4 内装材		3.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減		3.0	0.30	3.0
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		3.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		3.0	0.33	-
2.3 施工段階		3.0	0.33	-
3 リサイクルの促進		3.0	0.10	3.0
3.1 使用材料の積極提供		3.0	1.00	-
LR_{1.3} 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.80	3.3
1 地球温暖化への配慮		4.1	0.33	4.1
2 地域環境への配慮		3.0	0.33	3.0
2.1 地域インフラの負荷抑制		3.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		3.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	3.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		3.0	0.50	-
3.2 周辺気候環境の改善		3.0	0.50	-

図 III-10 [4]公表用スコアシート



2 CASBEE横浜[戸建]の重点項目の評価方法

ここでは、4つの重点項目についてCASBEE横浜の評価項目との関連と、得点の評価・算出方法等を説明します。

- 関連するCASBEE横浜[戸建]の評価項目
 CASBEE横浜[戸建]の評価項目のうち、各重点項目の取組に該当する評価項目が示されています。これらは横浜市の地域性等を踏まえ、建築主に建築に際して特に取組を推進していただきたい項目です。CASBEE横浜[戸建]の評価の際には取組内容をできるだけ詳細にスコアシートに記述してください。
- 得点の評価・算出方法
 横浜市の各重点項目では、関連するCASBEE横浜[戸建]の評価項目の結果と、CASBEE横浜では評価されないが推進すべき取組への取組状況により、5点満点で得点を算出します。重点項目によって、得点の評価方法、算出方法は異なります。

(1)建築物の省エネルギー性能 E (Energy Saving)

- 関連するCASBEE横浜の評価項目

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う

1 総合的な省エネ

- 1.1 躯体と設備による省エネ E【省エネルギー性能】①建物の工夫
- 1.2 家電・厨房機器による省エネ E【省エネルギー性能】②設備の性能

3 維持管理と運用の工夫

- 3.1 住まい方の提示 E【省エネルギー性能】③維持管理と運用
- 3.2 エネルギーの管理と制御 E【省エネルギー性能】③維持管理と運用

- 得点の評価・算出方法

BEIに基づき、次の表のとおり評価します。(BELSに準拠)

得点	評価基準
5点	BEI ≤ 0.8
4点	0.8 < BEI ≤ 0.85
3点	0.85 < BEI ≤ 0.9
2点	0.9 < BEI ≤ 1.0 または、仕様基準に適合
1点	1.0 < BEI

$$BEI = \frac{\text{設計一次エネルギー消費量 (その他一次エネルギー消費量を除く)}}{\text{基準一次エネルギー消費量 (その他一次エネルギー消費量を除く)}}$$



(2)健康・快適な職住環境 W (Smart Wellness Community)

- 関連するCASBEE横浜の評価項目

QH1 室内環境を快適・健康・安心にする

1 暑さ・寒さ

1.1 基本性能

1.1.1 断熱等性能の確保 W【健康・安心】 ④暑さ・寒さ

1.1.2 日射の調整機能 W【健康・安心】 ④暑さ・寒さ

2 健康と安全・安心

2.1 化学物質汚染の対策 W【健康・安心】 ⑤健康と安全・安心

2.2 適切な換気計画 W【健康・安心】 ⑤健康と安全・安心

2.3 犯罪に備える W【健康・安心】 ⑤健康と安全・安心

- 得点の評価・算出方法

外皮性能を基本点とし、これに加点分※として健康と安心に関わる取組の得点(上限2点)を加えた5点満点で評価します。

基本点	外皮性能
3点	断熱等性能等級4
1点	断熱等性能等級1～3

※加点分(上限2点)

1)「健康・安心」に係る評価項目で、レベル5に相当する取組を行っている場合 → 各項目について加点1点

2)断熱等性能等級4を超える断熱性能の場合 → 加点1点

ここで等級4を超える断熱性能とは外皮平均熱貫流率と熱損失係数が以下の数値(6地域)となることを目安とします。

外皮平均熱貫流率:0.58(W/m²K)以下

熱損失係数: 1.9以下

3)その他として以下の工夫を行っている場合 → 加点1点

・ 住戸内の大半(リビング+寝室)で自然素材を用いた内装計画(床又は内壁)

<例> 無垢材の採用、調湿機能の高い材料

・ 通風用スリット付き窓(防犯にも配慮した自然通風の工夫など)



(3)防災への配慮 R (Resilience)

- 関連するCASBEE横浜の評価項目

Q_H1 室内環境を快適・健康・安心にする

2 健康と安全・安心

2.4 災害に備える R 【防災】 ⑦災害に備える

Q_H2 長く使い続ける

1 長寿命に対する基本性能

1.1 躯体 R 【防災】 ⑧長寿命に対する基本性能

1.4 自然災害に耐える R 【防災】 ⑧長寿命に対する基本性能

Q_H3 まちなみ・生態系を豊かにする

3 地域の安全・安心 R 【防災】 ⑨地域の安全・安心

- 得点の評価・算出方法

以下の⑦～⑨のスコア(1～5点)を単純平均した値(小数点1桁を四捨五入)を得点とします。

⑦災害に備える :「Q_H1/2.4 災害に備える」のスコア

⑧長寿命に対する基本性能 :「Q_H2/1.1 躯体」のスコア

⑧長寿命に対する基本性能 :「Q_H2/1.4 自然災害に耐える」のスコア

⑨地域の安全・安心 :「Q_H3/3 地域の安全・安心」のスコア

(4)地域・まちづくりへの貢献 T (Township and Townscape)

- 関連するCASBEE横浜の評価項目

Q_H3 まちなみ・生態系を豊かにする

1 まちなみ・景観への配慮 T 【地域・まちづくり】 ⑩まちなみ・景観への配慮

2 生物環境の創出

2.1 敷地内の緑化 T 【地域・まちづくり】 ⑪生物環境の創出

2.2 生物の生息環境の確保 T 【地域・まちづくり】 ⑪生物環境の創出

- 得点の評価・算出方法

以下の⑩⑪のスコア(1～5点)を単純平均した値(小数点1桁を四捨五入)を得点とします。

⑩まちなみ・景観への配慮 :「Q_H3/1 まちなみ・景観への配慮」のスコア

⑪生物環境の創出 :「Q_H3/2 生物環境の創出」のスコア